

紙面紹介

- 1頁 会員、母校全容、総会案内
- 2頁 会長挨拶、母校現勢
- 3頁 学校長挨拶、校舎移転式典等写真
- 4頁 八山田・桃見台の現況
- 5頁 定時制の現況、甲子園決算、支部一覧
- 6.7頁 夢の甲子園大会
- 8.9頁 甲子園・神宮野球・写真特集
- 10頁 卒業生とそこらの状況
- 11頁 事務局便り、予・決算他
- 12頁 同窓会規約・編集後記

福島県立郡山北工業高等学校

同窓会報

発行所

〒963 福島県郡山市富久山町八山田大林1
 福島県立郡山北工業高等学校同窓会
 電話 郡山(0249) 32-1199・32-1577
 発行者 渡辺達英
 編集代表 高野和雄
 写真撮影 宮部正吉
 発行部数 5,500部

会員

総勢二万九百人

いよいよ八山田に勢ぞろい

この二年間、八山田・桃見台、加えて大槻等の校舎に分散して教育が行なわれていた新装の「郡山北工高」はいよいよ四月から全面的に八山田校舎に一本化される。一九七八年十一月には旧郡工のあった桃見台と旧郡西工のあった大槻とで、移転祝賀式典も行なわれ、両校跡に記念碑も建てられた。また桃見台の樹木は移転進行中。

例えば、「郡山工高」は桃見台の地に四九年から丁度三十年間、「郡山西工高」は大槻の地に六三年から十五年間存立したが、両地での歴史を閉じる。桃見台には八〇年から「郡山中央高」(仮称)が建築移転し、大槻には既に七七年から「郡山高校」が発足している。第二次大戦の末期「郡山商」の転換によってつくられた「郡山工」、経済の高度成長開始の時期に、「終戦っ子」対策としてつくられた

た「郡山西工」も、今や石油危機後の経済低迷の中で統合され、「八山田が丘」に今春第三年目を迎えるようとしている。

同窓会々員はこんど新たに五百五十八人を迎え、旧郡工・旧西工合せて一万八千九百八十八人である。

大戦中、郡工が発足したころ、郡山市には今日の高校の前身は安積・安女・郡女・郡二女・郡工の五校十八学級、一学年定員が九百人だった。それが三十五年後の今春、県立八校五十九学級二千五百人、私立四校四十七学級二千人。本校の募集定員は機械百二十、電気八十、電子四十、化工八十、建築四十、情報技術四十。定時制機械四十、電気四十。計四百八十人。全日制は十人の臨時増があり、定員四百十に対して志願者四百六十四。定時制は九。



本校校舎全景

郡山工(全)	五、八四二
同(定)	七八七
郡西工	三、一七二
郡北工(全)	九七三
同(定)	一一四
計	一、〇八九八

通知

第三回 同窓会通知

本校同窓会が発足して、ことは第三回目の同窓会定期総会を迎えることになりました。昨年は待望の野球部優勝で甲子園出場をほたし、会員皆様より多額の御芳志をいたゞき有難く御礼申し上げます。今年度の総会には野球部の監督部長も参加下さいますので御礼申し上げますことになっております。つきましては、ことしも例年通り左記により第三回定期総会を開催することになりました。多数参加下さいますよう御案内申し上げます。

- ①日時 五月二十日 (日) 午後二時より
 郡山ビューホテル(郡山市中町五階あぶくま太田病院前入口よりお入り下さい)
- ②場所 郡山ビューホテル(郡山市中町五階あぶくま太田病院前入口よりお入り下さい)
- ③会費 三千元



本格的シティーホテル。

●会議、結婚式、同窓会、宴会に……1,000名収容大宴会場。

お問合せ・お申込みは
郡山ビューホテル
 福島県郡山市中町3-1 ☎(0249) 24-1111(代)

校訓の真剣な実践

緑豊富な花咲く学園に

校長 佐久間 俊 忍



本校も創立三年目を迎え、教育環境の整備と、校訓(調和・創造・特色)の実践に真剣な努力を致しておるところでございます。昨年創立二年目であるにもかかわらず、福島県代表として甲子園に臨み、見事に緒戦を飾り、涙の中で新校歌を声高らかに大合唱することができました。これも偏に先輩各位の暖いご支援の賜でございます。心から厚く感謝を申し上げます。

お陰さまで統合事業も、今年三月には完了する予定であり、新校舎で、全生徒と一緒に学習できる見通し

でございます。ふりかえってみますと、今から三年前の昭和五十一年の頃は、統合だ、反対だと、郡工も西工も大揺れに揺れ動き、お先真暗の状況でしたが、先輩各位の大乗の見地に立つた「小異は残して大同につく」という大抱負の下、一糸乱れず統合の道に進まれた見識は未永く語り継がれることでしょう。

さて今年、三月末日までは、桃見台校舎から八山田校舎へ残りの機械科・建築科が移転いたしますので、四月からは名実ともに日本一の郡山北工が誕生いたします。私共は今、次のような抱負をもって学校運営のやりたいと思っております。

一、教育の面では校訓(調和・創造・特色)に基づいて自分の可能性を信じ、あらゆる分野で自己実現を

図りうる資質を養わせたいと考えております。

二、施設の面ではなんといっても環境は人をつくるといわれますので、校地に緑をいっぱいにし、最後の施設である格技場・プール、弓道場、各クラブ部室、バックネット、テニスコートの整備を図り、視聴覚室、図書館、音楽室及び、各実験、実習室の充実をすすめて参りたいと存じます。

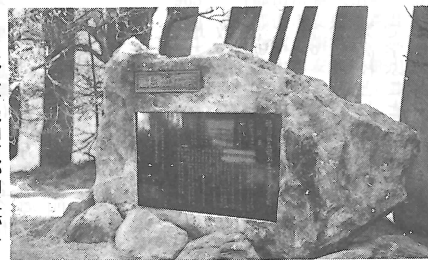
先輩各位が暖い四月頃においでになりますと、秀峰安達太良をバックに、白亜三階建四棟の偉容が迎え入れることでしょう。また、棟間の和洋式庭園では、色とりどりの花が歓迎することでしょう。各位は勿論のことどうぞ奥様やお子さへんに、あなたの母校をみせてあげて頂きたいと存じます。学校は挙げて歓迎いたします。

校舎移転式典と記念碑

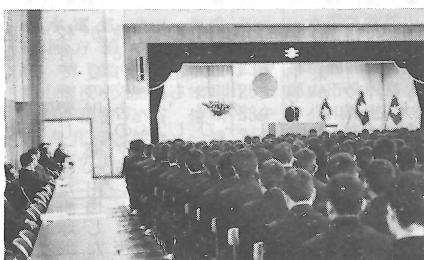
一九七八・一一・二五



桃見台
校地寄贈者今泉貞雄氏
大機地内、郡山西工跡



桃見台地内、郡山工跡
式典、桃見台体育館で



ミニ庭園からゴルフ場づくりまで

- 営業品目 —
- 和洋風造園工事
 - 植木苗木・各種盆栽鉢物
 - 高麗芸野芸
 - 人工芸種子吹付工事
 - 園芸フェンス工事一式
 - 其の他園芸資材全般

技術と信用を誇る
造園工事・法面保護工事・土木工事業

赤井田造園園芸株式会社

取締役社長 赤井田 武
専 務 赤井田守夫 (40年 工化卒)

福島県須賀川市一里垣95 ☎ (02487) 6-4171(代)
郡山市細沼町10-12 ☎ (0249) 34-4321



八山田校舎の現況

教頭 松本紹夫

昭和五十三年度をむかえ本校も新設第二年度となり

ました。昨年までの八山田校舎は電気科、電子科、情報技術科の電気系三学科、生徒数約四百八十名でした

が、本年度は更に工業化学科、化学工学科が移転して生徒数約七百八十名となりました。また校舎も五十二年度末で一般棟二、七四〇㎡(六八・九%)、産振棟四、九一九㎡(四五・六%)

の建設が行なわれましたが本年度は一般棟二、一四〇㎡及び産振棟二、六九七㎡が増築され累計はそれぞれ六、八八〇㎡(一〇〇%)及び七、六一五㎡(七〇・六%)と充実されました。

校地は昭和五十三年度、福島県を中心として開催された全国高校総体のサッカー競技場となったため三千六百四円で運動場が整備され、更に通学路及び約六十

台分の駐車場が舗装されました。またこれに附随して運動場周囲の金網付フェンス五百四十米(高さ一・八

米)及び国旗掲揚台などが設けられました。今後年度内に予定されている工事は野球バックネット、運動部室(五室)、自転車置場(二百台分)などです。

は大学、短大三十名、各種学校十五名で大学進学希望者中すでに推薦で四名が内定しています。最後に環境整備の問題ですが、原野を切り開いて作られた八山田校舎は昨年度まで、緑の無い無味乾燥の地でしたが第二回卒業生寄贈の庭園が去る十二月に完



桃見台校舎の現況

教頭 丹治元安

三十数年の歴史と伝統のある桃見台校舎も、今年四月からはなくなる。全国屈指の工業高校への発展的解消とは言い、何とも言いようのない淋しい気持である。特に同窓生の方々のお気持はわかるような気がする。

わたしは昨年四月、その責任の大きさと不安とが入りまじりながら桃見台校舎に赴任したばかりだが、あつと言つ間に一年間は過ぎてしまった。この一年間をふり返つてみる。

まず四月には大槻校舎から機械科三年生八十四名が移つて来て、桃見台校舎の機械科三年生と合流した。「みんな仲良くやって欲し

成し、また桃見台校舎から移植する樹木も大半移植を終り、「学び舎」としての落着いた雰囲気も生れて参りました。施設、設備、教育環境を整え郡北工を名実共に全国一の工業高校とするよう教職員、生徒一丸となつて努力しています。

い」そんな願いや心配も取り越し苦労で、全くスムーズに桃見台校舎の雰囲気になじんでくれた。また近代的な施設・設備を持った八山田校舎、老朽化した木造の桃見台校舎とは、あまりにも対称的だが、要は「学習の内容を充実」することである。特に三年生は旧郡工、旧西工へ入学した生徒、新校舎には、入られないまゝ、卒業して行くわけだが、しっかり学習して実力をつけ、最後の機械科卒業生、建築科卒業生として「有終の美」を飾って欲しい。

どなく、まじめな学校生活を送り、部活動では桃見台校舎で練習していた野球部が、夏の甲子園へ出場した。桃見台校舎のグラウンドは狭く、ボールが民家飞到びこむことも、しばしばあり、何回かお詫びに行ったことも思い出の一つである。学芸面でも大いに活躍し、特に各種の資格試験ではその成果が顕著である。アーク溶接検定では六十三名という全国でもめずらしい大量の合格者を出し、また特筆すべきこととして機械科の生徒が電気工事士試験に二十三名合格(機械科の先生方が指導)ポイラー技士試験には四十四名合格した。

十一月には桃見台校舎の移転記念式典や記念碑除幕式(旧郡工跡地と旧西工跡地)も晴天に恵まれて、多数の同窓生の方々と関係者出席のもと催された。今年四月からは桃見台校舎の一、二年生は八山田校舎に移り、初めての郡北工業高校となる。品位もあり、よく学習する桃見台校舎の生徒たちの気風は失

ないたくないものだ。これからさらに内容の充実をはかり、立派な郡山北工をつくっていきたい。

えてくれて、非行者も殆ん

★新刊 書籍・雑誌・教科書 辞典・参考書・文庫 etc.

(有)松文堂書店

堂前店 郡山市堂前町(如宝寺前) ☎32362
さくら通り店 郡山市清水台(八幡プラザ) 1F ☎221735

美しい写真・美しい仕上げ

みすず写真店

阿久津 満 夫 (機2期卒)

郡山市中町5番23号 ☎22-6456



定時制の現況

教 頭 岩 越 銀 三

定時制課程が昭和三十四年に本校に設置されて以来、こととして二十年を経過しました。この間八百有余の有為な人材を輩出し、社会の中核となって活躍されておりますことは、喜ばしいこととであります。

現在、生徒数二百二十四名、教職員二十九名であります。機械科、電気科、建設科が、おかれておりますが、建設科は昭和五十一年に募集停止となり、今春卒業生を以て幕を閉じることは、誠に残念であります。

定時制の生徒は調和、創造、特色の校訓の下、職業と学業の両立を目指して、厳しい現実には掛けることなく、学業に励んでおります。生徒は勤労学生らしく、生活に工夫をこらし、精一杯に努力しています。この一つの表われが、毎晩のあいさつであります。教職員に対しても、生徒同志でも、誰の区別なく、明るいついで、「おぼんです」の声をかけ

あいます。この一声がどれだけ人の心を明るくしてくれることか、測り知れないものがあります。

全日制が甲子園に出場、大活躍の偉業を果しました。が、定時制も軌を一にして全国高校定時制通信制軟式野球大会に福島県代表として出場、神宮の森で、活躍してまいりました。野球だけに、まらず、全国高校の定通体育大会には、バレーボール、軟式庭球が県代表に選ばれ、いずれも三回戦まで勝ち進み、立派な戦績をおさめたほかに、個人として卓球、剣道にも参加、県下に他に例のない活躍をしました。

文化面では、定通生活体験主張発表会において、優勝は逸したものの、優秀な成績をあげております。

高校への進学率は年々上昇し、九〇パーセントを越す現況ではあります。これとやらはらに定時制の入学志願者は減少の一途をた

どり、かつての最盛期の半数になつてしまいました。しかし、まだまだ、働らきながら学ぼうとする勤労青年は少なくありません。このような人たちの為にも「定時制の灯を消すな」の相言葉に、全職員一丸となって募集活動を推進しております。この点からも、同窓の皆さまから本校の優れた施設設備のもと、さらに勉学を積もうという勤労青年に定時制の存在を、ご教示いただければ幸いです。

甲子園派遣

後援会決算

単位 万円

収入 六、六〇三
支出 三、五五〇
残 金 二、九六三

収入中、同窓会員から千六百万円。残金は野球場整備費等、選手強化費、大会出場記念誌、定時制野球部全国大会出場補助等へあてられます。



支 部 連 絡 先 (役員名)

支部名	支部長名	卒業年度	勤務先	〒	現住所
東 京 都	小野寺 昭	23キ	日東紡建材(株)ロックファイバー営業部	145	東京都太田区北嶺町27-4
宇 都 宮 市	吉田 良毅	31キ	富士重工(株)宇都宮製作所生産部第二生産課	320	栃木県宇都宮市宮原3-4-11
水 戸 市	山崎 敏夫	29キ	(株)日立製作所水戸工場	312	茨城県勝田市根字六ッ野4950-14
日 立 市	山崎 敏夫	27キ	(株)日立製作所日立工場	316	茨城県日立市金沢町2672-100
埼 玉 県	土屋 勇	29キ	日産ディーゼル(株)上尾工場	362	埼玉県上尾市愛宕町2-17-9
本 部 事 務 局	渡辺 達英	24キ	文房具商	963	郡山市麓山1-16-28
山 水 電 気	広江 力男	24キ	県立郡山北工業高等学校	963	郡山市富久山町八山田大林1
白 河 方 部	宗川 哲雄	40テ	山水電気(株)郡山工場	969~05	郡山市安積町荒井字荒池下43
林 精 器	清田 敬雄	25キ	清水建設工業(株)	961	白河市南町44
郡 山 市 役 所	加藤 幸司	25キ	林精器(株)須賀川工場	969~05	郡山市安積町笹川1
コ ー プ ル 精 密	加藤 幸司	25キ	郡山市役所富久山支所	969~13	安達郡大玉村玉井字薄黒内127
日 本 化 学	朝倉 俊晴	33キ	コパル精密(株)	963	郡山市菜根2-5-11
日 東 富 久 山	朝倉 俊晴	24キ	日本化学(株)郡山工場	963	郡山市富久山町福原字鎌田31
日 本 大 学	高橋 英雄	25キ	日東紡績(株)富久山工場	963	郡山市安積町柴宮27-10
日 本 大 学	守尾 光晴	50キ	日本大学工学部機械科	963	郡山市久留米4-125

バイク
自転車

降矢輪業商会

降 矢 光 夫 (機7期)

郡山市芳賀三丁目1の2 ☎44-3934

カメラと写真の店

マツ

本店 郡山市長者(安女校東) ☎(代)23-0646

夢の甲子園大会出場

野球部



汗と涙と気迫で 打勝った歓喜

部長 井上伸雄

まず今回の甲子園出場にあたっては同窓生の皆様にはご支援、ご声援をいただきまして本当にありがとうございます。会報の紙面よりお礼申し上げます。

郡山市から初出場するまでの歩みをふり返ってみますと、いかに市民の永年の悲願であったか球史よりうかがうことができます。戦後の戦績を見ても、東北大会に昭和二十三、二十五年に郡山工が、二十六、二十七年に安積が、二十九年に郡山商が進出したもののいずれも夢破れ、その後三十年から四十年代の二十年間は市内高校の長い低迷の時期であった。県大会のベスト四入りが三十七年の安積、四十二年の郡山工の二回しかなかった。四十五年に県大会を招致するようになったのも市内高校のレベルの向上と出場というねがいが

あったからです。それ以来、地元の熱意と観客の動員数から県高野連でも郡山開催抜きには考えられなくなり、市内各校のレベルも年を追って向上し、五十年には郡山工がベスト四、五十一年には郡山西工が代表決定戦まで進みあと一歩のところまで来ました。五十二年に郡山工と郡山西工の統合により郡山北工が新しく発足し、五十三年の選手権大会も第六十回を迎えました。この記念すべき大会に永年の悲願が本校によって達成されたわけです。

このように見えますと今回の出場は郡山工、郡山西工の諸先輩の築き上げた実績のある伝統が郡山北工に受け継がれ開花したのがよくわかります。それに加えて今年度は選手、父兄、後援会、学校が一丸となったこと、各選手が他のチームの

選手より、より多くの汗と涙を経験し、心技にわたりよく成長したこと、さらに春以来の日程、練習内容に他にはない創意があり、ベスト・コンディションで大会に臨めたことなどがあったからだと思えます。



甲子園までの 苦難・思い出

コーチ 佐藤 謙 敬

昭和五十三年は、私にとって幸運であり、また、生涯忘れられないことのできない年でありました。私にその宝物を与えてくれたのは、統合二年目の北工球児たちでした。この選手たちを見たのは、春うららかな三月のことでした。その時の印象は礼儀のしっかりした元気で力強いチームでした。またグラウンドが全面的に整備されているのには驚きと同時に、このチームの強さを感じました。グラウンドの手入れは、野球をする以前の問題であり、整備のできているチームは、野球に対する

大会前の下馬評では伏兵にも上らなかったが、我々の間では優勝に對しかなり具体的な読みがあったことは事実です。前半戦の大きな山は対警戦とふんできましたが相手は名門校であり、力の点でも一段上でありました。その攻略法をじゅうぶん研究し、特に印象に残るのは試合前日の午後、に神社の境内でミーチン

グを行い「相手投手を崩すには初回から気迫で向って行け、後半必ずピッチャーは疲れを見せる。そこを狙えよ」であった。この作戦は見事の中し、翌日の新聞に「相手の気迫に前半とはし過ぎ、後半息切れした」と相手投手の談話がのっていった。この試合でねばりと自信がチームに出てきて、どんな試合でもじっと耐えて行けば必ず突破口は来る。そこをすかさず攻めるといふ試合のパターンになった。こういう意味で警戦は本校にとって甲子園出場への道を大きく開いた試合であった。

もありません。ノックは私打っていたのですが、まるで喧嘩をしているみたいでした。私は生徒の気力に負けてたまるかと、これでもか、これでもかと早く強いボールを打ち、生徒は、そんなボールに対して闘志をむき出しにして向ってくるのでした。だいぶあざをつくり、内出血をさせたこととでしょう。土砂降りの中で、ノックをしたこともありません。あの時は彼らがダイビングキャッチをし泥だらけになるまで続けました。気狂いじみてたことでしょう。かれらの手は、皮を剥

建築設計・監理

村上設計事務所

代表取締役 村上 一 信
一級建築士
一級建築士 村上 昇

事務所 郡山市開成三丁目8-4
電話 (0249) 33-4554

今日のスタミナ源、味とボリュームの弁当

給食弁当・仕出し 寿司・おにぎり・オードブルetc

……ご予算に応じて調整いたします……

ホクト一食品

郡山市下亀田4-8 TEL 22-0166



甲子園に校旗・校歌の感激

監督 加藤仁一郎

開成山を二分する大歓声と悲鳴に近い声の交錯する中で、石田が敢然と頭から本塁に突っこむ。乱舞して喜ぶわが校選手、呆然として立ちつくす安積商業。夢にまでみた一瞬でした。

時に昭和53年7月23日、同窓生、在校生、教職員、OB一体となつての甲子園行き切符の入手、五色のテロップの乱れ飛ぶ中、二度三度と宙に舞い、未曾有の喜びを味わうことができた。

思えば長い道のりだったような気がします。郡工の監督に就任して七年、ひたすら「甲子園」を合言葉に、先輩諸氏が築いてくれた輝やかしい伝統をけがしなげ、何とかOB共々がんばってこれたのも、ただただ夢の球場で教え子たちの活躍をこの目で見たい一念からだだと思ひます。今予選も、耶麻農、湯本、磐城、須賀川、白河と初戦

マスクも各紙に、ダイビング旋風と賞されたあの七、八回、同点に追いつき、逆転に成功した時に漂ったベンチのムードには、まさに鬼気迫る感さあつたものです。カクテル光線に映えセンターポールにあがる校旗を見、球場に雄々しくこだまする校歌を聴いた時、



神宮大会に 出場して

定時制野球部長 泉田 定信

毎日、午後九時から十時まで僅か一時間という短い時間に練習をしなければならぬ。少しまごまごしているとおまけに、一分も無駄にはできない。さらにボールがやっと思える中で練習は目が疲れ痛くなり、おまけに昼は働いているので体が思うように動かない。このような悪条件の中で練習は本当に辛い。しかし部員たちは、この困難にもめげず歯をくいしばって、目指すは「神宮大会」への出場を合言葉にひたすら練習に励んだ。七月九日本校グラウンドにおいて、須賀川

ついてきてくれた選手はもちろん、同窓会をはじめ関係各位に何とお礼を申し上げてよいやら感謝の念でいっぱいでした。ともあれ、これからが正念場。大きな期待と、他校からの標的に屈することなく精進するつもりです。

二高と神宮大会をかけたの決勝戦において4対2で須賀川二高を下し、ついに「神宮大会初出場」という栄冠を勝ち得たのである。今までの筆舌に尽くし難い苦しい練習の努力が「神宮」という二文字に、選手の青春のすべてがかかれられその夢を実現したのである。そして全日制野球部も「甲子園初出場」という偉業をなし、ついに「一緒に全国大会に出場できたことは、私の無上の喜びであります。神宮での試合は、二回戦都立足立高と対戦したが善戦および3対0で残念ながら敗れてしまった。全国大会に

ぎ、出血し、豆をつくり、デコボコです。毎日く続けた五百本スイングの結果です。かれらはその手を見る度に、熱く燃やした日々を思い出すことでしょう。かれらにとっては野球という好きなことをしているのですが、それは罵声、怒声の飛ぶ苦しく厳しい毎日であったと思います。何度か野球をやめようと思ったことでしょう。しかしそれに耐え、精進した結果最大の喜びと、球児の夢を果たすことができました。今一つのことを成し遂げた充実感と満足感が、漂っていることでしょう。

出場して得た貴重な体験を、今後の野球指導にいかし、遠いかもしれない神宮での優勝をめざして頑張りたい。全国大会出場をはたした。全国の選手諸君に感謝を申し上げ、あの日、美しい緑の球場での青春の一ページを、これからの人生への教訓として励んでほしい。最後にこれまで暖かいご援助とご協力をくださいました皆様方に厚く御礼申し上げます。

<p>◆作業服・制服・白衣 製造◆</p> <p>株式会社 浜津被服</p> <p>代表取締役社長 浜津 平一 取締役営業部長 浜津 幸平 (機3期卒)</p> <p>福島県郡山市清水台二丁目5番3号 ☎32-2631</p>	<p>冷暖房・空気調和設備・冷凍・冷蔵設備 給排水衛生設備・設計・施工</p> <p>東北空調工業株式会社</p> <p>代表取締役 岡崎初美 (28年度機械科卒)</p> <p>本社 郡山市富久山町久保田字我妻84番地 5 〒963 TEL 22-4540 (代表)</p>
--	---

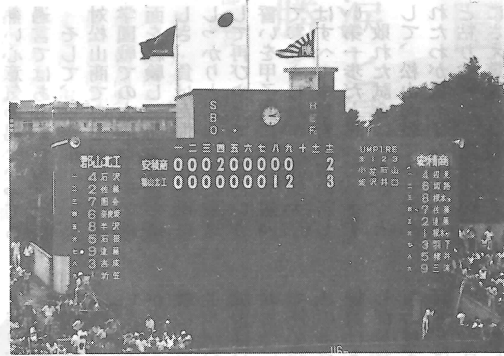
甲子園・神宮大会特集

逆転五たびの精神野球

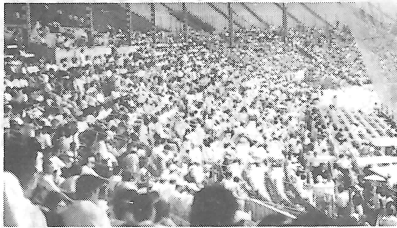
福島大会戦績(出場66校)
 2回戦 郡山北工12-0 耶麻農
 3回戦 郡山北7-2 湯本
 4回戦 郡山北4-2 磐城
 準決勝 郡山北4-2 須賀川
 準決勝 郡山北6-0 白河
 決勝 郡山北3-2 安積商



夢の甲子園球場での開会式
8・7



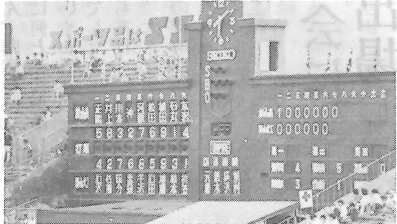
興奮・感激の開成山球場
7・23



母校応援団席
8・9



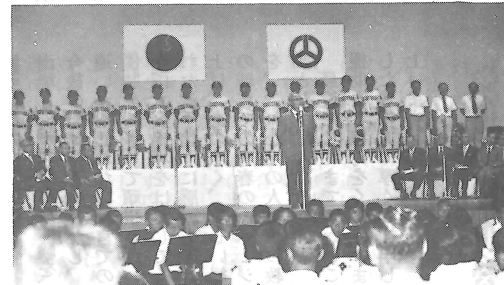
桃見台校門・野球グラウンド前に凱旋
7・23



松山商に逆転勝ち
8・9



炎熱の下、裸で応援
8・9



郡山市民・甲子園壮行会
7・30

SPORTS CITY
BY WATANABE SPORTS

◆ 乱舞 ◆ 待望のスポーツシティ
3月中旬オープン!

ワタナベスポーツ

スポーツシティ 郡山市駅前2-6-3 ☎223650(代)
 商品センター 郡山市富田町字町畑19 ☎510666(代)

第60回全国高等学校野球選手権大会は8月7日から14日間、福島県代表郡山北工はじめ全国から選り、鍛え抜かれた49校が参加、真夏の太陽が照りつける西宮市甲子園球場で開かれました。(全国参加校3074校)

一方第25回全国高校定通軟式野球大会は8月12日から5日間、東京・明治神宮野球場で開かれ、郡山北工定時制が出場しました。

炎熱の青春・汗と涙の

統合2年目の栄冠



監督胸あけ
7・9



定通野球、神宮球場での入場行進
8・12

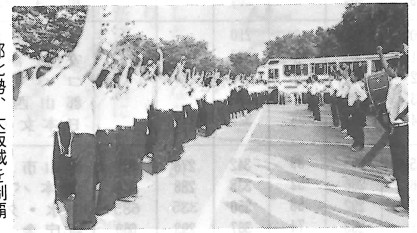
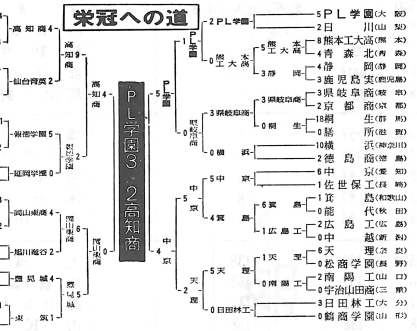
全国大会戦績一覧

高知 高知大 5	高知 高知大 14
高知 高知大 1	高知 高知大 8
高知 高知大 2	高知 高知大 3
高知 高知大 4	高知 高知大 9
高知 高知大 10	高知 高知大 11
高知 高知大 12	高知 高知大 13
高知 高知大 14	高知 高知大 15
高知 高知大 16	高知 高知大 17
高知 高知大 18	高知 高知大 19
高知 高知大 20	高知 高知大 21
高知 高知大 22	高知 高知大 23
高知 高知大 24	高知 高知大 25
高知 高知大 26	高知 高知大 27
高知 高知大 28	高知 高知大 29
高知 高知大 30	高知 高知大 31
高知 高知大 32	高知 高知大 33
高知 高知大 34	高知 高知大 35
高知 高知大 36	高知 高知大 37
高知 高知大 38	高知 高知大 39
高知 高知大 40	高知 高知大 41
高知 高知大 42	高知 高知大 43
高知 高知大 44	高知 高知大 45
高知 高知大 46	高知 高知大 47
高知 高知大 48	高知 高知大 49
高知 高知大 50	高知 高知大 51
高知 高知大 52	高知 高知大 53
高知 高知大 54	高知 高知大 55
高知 高知大 56	高知 高知大 57
高知 高知大 58	高知 高知大 59
高知 高知大 60	高知 高知大 61
高知 高知大 62	高知 高知大 63
高知 高知大 64	高知 高知大 65
高知 高知大 66	高知 高知大 67
高知 高知大 68	高知 高知大 69
高知 高知大 70	高知 高知大 71
高知 高知大 72	高知 高知大 73
高知 高知大 74	高知 高知大 75
高知 高知大 76	高知 高知大 77
高知 高知大 78	高知 高知大 79
高知 高知大 80	高知 高知大 81
高知 高知大 82	高知 高知大 83
高知 高知大 84	高知 高知大 85
高知 高知大 86	高知 高知大 87
高知 高知大 88	高知 高知大 89
高知 高知大 90	高知 高知大 91
高知 高知大 92	高知 高知大 93
高知 高知大 94	高知 高知大 95
高知 高知大 96	高知 高知大 97
高知 高知大 98	高知 高知大 99
高知 高知大 100	高知 高知大 101

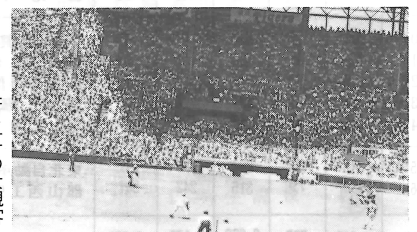
〈本集の写真は関係者からの提供による〉



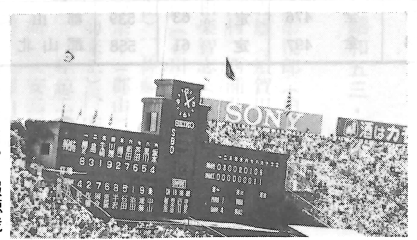
定通大会戦績一覧



郡北勢、大坂城を制覇
8・14



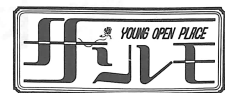
五万五千の大観客
8・14



最後まで粘った報徳戦
8・14

婦人靴・ハンドバック店 ☎ 24 - 0539

ビックカウンター店 ☎ 24 - 0540



郡山市中町ビュープラザ2F

卒業生とそのころの状況

年度は西暦、カッコ内は昭和

区分 年度	卒業生				できごと		流行語	
	郡 工			郡西	計	郡 山		国 内
	全	定	小計					
4409						東京の児童、熱海に疎開 学 徒 動 員	鬼 畜 米 英	
4520 46 47 48 49		◎カッコ内は中卒				米 軍 の 爆 撃 敗 戦 戦 陸 軍 兵 舎、県 営 察 に 軍 国 主 義 教 育 禁 止 新 制 中 学 校 発 足 6・3・3・4 学 制 郡 山 に 6 県 立 高 校 新 制 高 校 発 足 郡 山 工 野 球 県 大 会 優 勝 松 川 列 車 転 覆 事 件	4 等 国 族 ア プ レ ・ ゲ ー ル 斜 た 陽 い 争 冷 た い 戦 竹 馬 経 済	
5025 51 52 53 54	57 103 91 87 94		57 103 91 87 94			郡 山 女 子 短 期 大 学 開 校 朝 鮮 戦 争 勃 発 日 大 東 北 工 業 高 校 開 校 港 体 制 に 入 る 開 成 山 競 馬 場 成 立 血 の メ ー デ ー 事 件 保 安 隊 大 槻 駐 留 新 制 国 立 大 ・ 初 の 卒 業 式 富 田 村 合 併 ビ キ ニ で 福 竜 丸 被 災	特 需 景 気 逆 コ ー ヤ ン キ ー ・ ゴ ー ・ ホ ー ム ハ ヲ 頭 ロ マ ン ス ・ グ レ	
5530 56 57 58 59	138 152 142 158 204		138 152 142 158 204			大 槻 町 合 併 立 川 基 地 拡 張 反 対 闘 争 片 倉 製 糸 操 業 停 止 教 育 委 員 官 選 法 成 立 郡 山 女 大 附 属 高 校 発 足 道 徳 教 育 強 化 市 民 会 館 完 成 勤 務 評 定 反 対 闘 争 新 4 号 国 道 舗 装 岩 戸 景 気	太 陽 族 億 総 白 痴 テ ラ ッ ク な 戦 後 で は な が ら	
6035 61 62 63 64	204 263 264 238 297	6 3 0 0 25	210 266 264 238 322			百 万 都 市 建 設 の 気 運 安 保 条 約 改 訂 闘 争 安 積 商 業 高 校 発 足 中 学 生 学 力 テ ス ト コ バ ル 精 密 操 業 1000 万 受 信 者 郡 山 西 工 業 高 校 発 足 高 校 急 増 対 策 開 始 日 本 女 子 工 業 高 校 発 足 東 京 五 輪 ・ 新 幹 線	所 得 倍 増 レ ジ ョ ー ハ ヲ ッ ク ス 根	
6540 66 67 68 69	303 286 292 293 262	39 52 58 74 61	342 338 350 367 323	279 621 626 685 660 581		郡 山 市、12 町 村 を 合 併 高 校 進 学 率 70 % 日 本 パ ー オ キ 操 業 ベ ト ナ ム 反 戦 統 一 ス ト 山 水 ・ タ ク ト 電 機 操 業 美 濃 部 革 新 都 政 新 庁 舎、朝 日 一 丁 目 に G N P、米 ソ につ ぐ 警 光 ホ テ ル 大 火 東 大 安 田 講 堂 事 件	期 待 さ れ る 人 間 像 い じ ゃ な ー フ ー テ ン 族 大 衆 団 交 交 や っ た ぜ ・ ベ イ ビ ー	
7045 71 72 73 74	252 269 259 247 235	59 51 79 74 61	311 320 338 321 296	279 572 581 591 561 524		下 水 道 終 末 処 理 場 操 業 市 人 口 1 億 3 7 0 万 人 郡 山 ・ 奈 良 姉 妹 都 市 公 害 病 深 刻 化 経 済 都 市 郡 山、福 島 を 抜 く 日 中 国 交 回 復 地 価 高 騰 中 東 戦 争 に よ る 石 油 危 機 電 話 5 万 台 マ イ ナ ス 経 済 成 長	ヘ イ ス カ バ ー ・ ジ ャ ン デ ィ ス コ ー 大 福 三 角 大 福 ユ ッ ク リ ズ ム ア ル コ ロ ジ ー	
7550 76	242 236	66 79	308 315	239 242	547 557	東 北 自 動 車 道 郡 山 ・ 白 石 開 通 郡 山 西 工 野 球 県 大 会 準 優 勝	高 校 進 学 率 92 % ロ ッ キ ー ド 事 件	チ カ レ タ ビ ー 記 憶 に ご ざ い ま せ ン
計	5,842	787	6,629	3,172	9,801			
77	全	476	定	63	539	郡 山 に 革 新 市 政	円 高 不 況 ・ ド シ ャ 降 り 輸 出	日 本 列 島 冬 景 色
78	全	497	定	61	558	郡 山 北 工 野 球 甲 子 園	日 中 平 和 友 好 条 約 発 効	U F O ・ ア ー ウ ー



ユーザーのニーズを先取りする
新しい時代のスペシャリスト集団



株式会社 東北エンタープライズ
東北保守サービス
代表取締役 先崎一郎

● 本社 郡山市開成4丁目8番15号 ☎0249-33-2555(代) ● 営業所 仙台・福島・水戸
● 営業種目 冷暖房空調設備・給排水衛生設備・冷凍冷蔵設備・各種防災設備・大型厨房設備・エレベーター・エスカレーター設備〈設計・施工・保守管理〉

事務局からの報告

第二回定期総会報告

第二回定期総会は、五月七日(日)午後一時より新装なった郡山ビューホテル四階において同窓生四十名が参加して開催されました。そのおもな内容は別になく、両校合併して二年目なので仲良く運営していこうという話し合いで終わりました。

なお郡山北工業高等学校同窓会の規約によりますと役員任期は二年になっておりますので本年は改選がな

く、会計監事に一名の欠員が出来たのでその補欠選があり三十九年度定時機械科卒(旧郡工)の芳賀信正氏に決定し、会議は全て終了いたしました。続いて恒例の懇親会が盛大に行なわれました。

会務報告

昨年の役員総会より三役会、常任理事会を含めて(一月二十日まで)五回行な

われしました。主なものは次のとおり。

- 一、新役員改選について
- 二、東京支部総会出席者について
- 三、会計監査実施について
- 四、第二回定期総会について
- 五、決算、予算案、議題等について

同窓会予算・決算報告

1. 収 入

項目	昭52決算	昭53予算
郡工繰越金	234,058	0
西工繰越金	400,000	0
繰越金	0	- 109,014
会費	0	1,078,000
入会金	0	539,000
子入	1,518	100
雑収入	75,840	10,000
計	711,416	1,518,086

2. 支 出

項目	昭52決算	昭53予算
基本金	0	323,400
本会議費	56,400	150,000
会務費	333,120	90,000
通郵便費	0	260,000
旅費	112,000	120,000
旅費	63,000	90,000
会報編集費	103,000	120,000
渉外費	16,440	50,000
記念品	95,900	100,000
事務局費	40,000	60,000
雑費	0	154,686
計	820,430	1,518,086

3. 残 金

残 金	- 109,014	0
-----	-----------	---

基本金会計(昭52)

繰越金	1,013,043
昭和52年分	323,400
利子	1,296
計	1,337,739

(会計担当 広江力男)

新入会員

	科	昭52	昭53
全 日 制	機 械	162	170
	電 気	115	117
	電 子	39	42
	工 化	39	44
	工 建	79	79
定 時 制	機 械	25	29
	電 気	20	18
	建 設	18	14
合 計		539	558

教職員異動

昭和五三・三

◇転入職員 カッコ内前任校
 丹治元安(勿来工)、高坂正治(二本松工)、浅生田悟葉(湖南)、鈴木幹明(須賀川女)、大越明(白河農工)、齊田卓二(田村)、木村喜久男(田村)、樽川広喜(小野)、村田正作(安積二)、井戸川恒雄(安二)、羽二生幸雄(新任)以上教諭、佐藤謙敬(新)、落合宏昌(安二)、桑名保吉(新)、白石昭二(三春病院)今川昇一(新)、小磯永治(矢吹病院)、須田久子(新)、寺山百合子(新)、熊田恵子(新)、吉田キヨノ(新)

◇転退職員 カッコ内転退先
 関根健一(喜多方工校長)。

宗形悦郎(白農工)、宗像義雄(須賀川)、水野浩(田村)、西浦弘(二本松工)、相楽智志(須賀川)、平手仁(石川)、岡部康則(郡山)、佐藤衛(郡山)、村越宗平(郡山)、木田長英(勿来工)、安西金造(小野)、星諒一(二工)、辺見陽一(安二)以上教諭。
 丹野稔(郡山教頭)、鹿又長治(田村)、加藤テル子(安積)、松崎講二(県)、大越忠士(県)、樋口則昭(退)、白川隆志(会津女)、加藤洋子(東白農)、山田信次(郡女)、堀内ハルヨ(退)、伊藤加子(退)七海清夫(小高工)

工作機械 / 板金機械 / 熔接機材 / 作業工具 / 測定工具 / 研磨材

株式会社 伊藤商店機材部

代表取締役 伊藤英二 (28年度建築科卒)

〒963 郡山市菜根5丁目21番13号 ☎(0249) 33-0611 (代)

同窓会規約

第一章 総則

第一条 本会は福島県立郡山北工業高等学校同窓会と称し、本会の本部事務局は、福島県立郡山北工業高等学校(以下「母校」と称す)内におく。

第二条 本会は会員の親睦を図り互助の事業を行ない、母校教育の振興発展に努め、わが国の工業発展に寄与することを目的とする。

第三条 本会は第二条の目的を達成するため、次の事業を行なう。

- 一 母校の発展と会員の相互扶助に関する事業
- 二 会誌・会員名簿・その他図書印刷物の刊行
- 三 その他目的達成に必要な事業

第二章 会員

第四条 会員を分けて普通会員、名誉全員、特別会員とする。

- 一 普通会員は県立郡山工業高等学校・県立郡山西工業高等学校・県立郡山北工業高等学校の出身者とする。
- 二 名誉会員は母校の旧校長とする。
- 三 特別会員は母校の現

旧教職員とする。

第三章 役員

第五条 本会に次の役員をおく。

- 一 会長 一名
- 二 副会長 四名
- 三 監事 三名
- 四 常任幹事 若干名
- 五 幹事 名
- 六 事務局次長 一名
- 七 事務局次長 名

第六条 役員は任務は次のとおりである。

- 一 会長は本会を代表し会務一切を統括する。
- 二 副会長は会長を補佐し、会長事故あるときは、その任務を代行する。

三 監事は本会の運営及び会計を監査し、幹事に出席し発言できる。

- 四 常任幹事は本会の事業を執行する。
- 五 幹事は本会の事業を審議する。
- 六 事務局次長は会務の処理にあたる。
- 七 事務局次長は事務局長を補佐し庶務を分担する。

第七条 本会の役員は次の方法によって選出し、その任期は二年とする。但し再任を妨げない。

- 一 会長・副会長・監事は総会において選出する。

二 常任幹事・幹事・事務局次長は会長が委嘱する。

三 事務局次長は事務局長が選任する。

第四章 議 議

第八条 本会の会議は総会・幹事会・常任幹事会とする。

一 総会は本会の最高決議機関であつて、毎年一回会長がこれを召集する。但し幹事が必要と認めた場合は、臨時に開くことができる。総会は出席人員をもって成立し、決議は出席者の過半数の同意を必要とする。

二 幹事会は正副会長・事務局次長・同次長・常任幹事・幹事・監事にて構成し、総会につく決議機関である。

- 三 常任幹事会は正副会長・事務局次長・同次長・常任幹事・監事にて構成し、会務を審議執行する。

第九条 必要に応じて三役会を開くことができ、正副会長・事務局次長で構成する。

第五章 会費・会計及び借債

第十条 本会の経費は会費・入金金・事業収入・寄附金をもってこれをあ

てる。

第十一条 普通会員は入会の際、入金金千円と、終身会費二千円を納入する。

第十二条 本会の入金金・終身会費の二割を、基本金として積立てる。

第十三条 本会の会計年度は四月に始まり、翌年三月に終る。

第十四条 本会の収支は毎年三月末日において決算し、総会に報告する。本会に次の帳簿をおき、事務局で保管する。

- 一 規約綴
- 二 会員名簿
- 三 役員名簿
- 四 会計簿
- 五 記録簿
- 六 文書綴
- 七 備品台帳
- 八 その他必要と認めた帳簿

第十五条 本会に次の集會を設けることができる。

- 一 各支部会
- 二 各科会
- 三 同級会
- 四 その他の会

第十六条 本会に次の内規を設ける。

- 一 表彰内規

二 旅費内規

三 慶弔内規

四 会計内規

第十七条 本会会員は氏名・住所・勤務先等に変更があった場合、直ちに事務局に連絡しなければならぬ。

第十八条 規約の変更は総会において、出席会員の過半数の賛成を得なければならぬ。

第七章 附 則

一 この規約は昭和五十二年十二月十八日より施行する。

編集後記

この一年間、八山田校舎では樋音高く第三期建設工事が進められ、教室棟・体育館等は完成し、実習棟は七〇%の進捗。夏の53高校総体、輝しい甲子園野球大会出場、定時制運動部の全県制覇、思い出の桃見台校舎移転式典、吹奏楽部をはじめとする生徒会各部・委員会のめざましい活動、各種検定試験への大量合格等々、母校郡山北工は足進を二年目にして輝しい躍進をみました。今回は役員会の意をたいて、甲子園・神宮大会を特集しました。郡工発足以来三十五年の歴史、ここに「会報」通巻第二十九号をお送りいたします。



写植・タイプ・オフセット印刷

(有) ヤシマ孔房

〒963 郡山市菜根3-6-14 ☎(0249)22-3533(代)

設計監理

佐藤実建築設計事務所

一級建築士 佐藤 実 (33年度卒建築科)

郡山市麓山一丁目7-18 ヤマトビル3F
TEL 33-3894